

リモートマネージドサービス 接続構成とポート設定

お客様ネットワークで許可いただく通信要件

リモートマネージドサービス（以下RMS）では、施設内のプロジェクターを Windows® PC 上の「複数台監視制御ソフトウェア」で監視・制御し、PC からインターネットへ接続します。以下の区間 A / B の通信を遮断しないよう、ネットワーク機器やファイアウォール設定をご確認ください。

全体構成（通信区間）



A. 機器 ～ Windows® PC 間

下記ポートの双方向通信を許可してください。

ポート	プロトコル
80	TCP
1024	TCP / UDP
4352	TCP

注意：1024 は機器側のデフォルトポートです。機器側でポート番号を変更した場合、複数台監視制御ソフトウェア側も同じ番号に変更してください。

B. Windows® PC ～ Internet 間

PC からインターネットへの通信を許可してください。

ポート	プロトコル
443 (outbound)	TCP

注意：通信経路上のファイアウォール、プロキシ等で 443/TCP outbound を遮断しない設定にしてください。

プロジェクター側の設定要件

複数台監視制御ソフトウェアから機器を監視・制御するため、対象機器で次の機能を有効にしてください。設定方法は対象機器の取扱説明書をご確認ください。

Command Control（コマンドコントロール）

PJLink™

※ 機種によりメニュー名や設定手順が異なる場合があります。

サマリー（導入前チェックリスト）

- 1 区間 A の 80/TCP、1024/TCP・UDP、4352/TCP が、スイッチ／ルーター／ファイアウォール等で遮断されていない。
- 2 区間 B の 443/TCP outbound が、ファイアウォール／プロキシ等で遮断されていない。
- 3 機器側で 1024 以外のポートに変更した場合、ソフトウェア側も同じポート番号に合わせている。
- 4 対象機器の Command Control と PJLink™ が有効になっている。